

平成30年度 公益財団法人山梨県体育協会事業計画書

事業計画

基本方針

本協会は、県民のスポーツニーズを的確にとらえ、県民一人ひとりがスポーツに親しめるよう、スポーツの振興を図っていく公益財団法人としての使命がある。このため「山梨県体育協会スポーツ推進計画」に基づき、加盟団体との連携を一層強化しながら「体育協会の運営」、「スポーツの推進」、「利用環境・効率の向上」を重点に次の事業を行う。

事業実施計画

I 体育協会の運営

1 理事会、評議員会等の運営

(1) 理事会	第1回(通常)	平成30年6月 5日(火)
	第1回(臨時)	平成30年6月21日(木)
	第2回(通常)	平成30年8月 2日(木)
	第3回(通常)	平成31年3月14日(木)
(2) 評議員会	定 時	平成30年6月21日(木)
	臨 時	平成31年3月22日(金)
(3) 総務委員会	第1回	平成30年6月 1日(金)
	第2回	平成30年7月31日(火)
	第3回	平成31年3月 8日(金)

(4) 加盟団体関係会議

平成30年4月11日(水) 加盟競技団体・学校体育団体理事長会議

平成30年4月11日(水) 市町村体育協会事務局長・事務担当者会議

2 体育協会創立記念事業

本協会は発足以来90周年となることから、これまでの歩みを振り返り、今後の本協会の更なる発展に向けて記念事業を行う。

- (1) 創立90周年記念式典 平成30年11月23日(金)
- (2) 功労者表彰 平成30年11月23日(金)
- (3) 「やまなし体協創立90周年記念特別号」の発刊

3 事務局の運営

(1) 本協会が実施する事業推進のため、自主財源の確保に努める。

ア 賛助会員の加入募集

イ 寄附金(免税寄附金)の募集及び制度の活用促進

(2) 総合的人材育成システムの運用

「人材育成基本方針」に基づき、職員の資質向上のため、研修会の開催や各種講習会及び資格取得研修への参加等、総合的な人材育成を行うとともに、職員倫理やコンプライアンスの徹底、向上を図る。

(公益目的事業)

II スポーツの推進

1 専門委員会の開催

スポーツの推進を図る上で必要な事項について検討するため、専門委員会を開催する。

(1) スポーツ振興委員会	第1回	平成30年 6月29日(金)
	第2回	平成30年11月13日(火)
	第3回	平成31年 3月 6日(水)
(2) 広報委員会	第1回	平成30年 5月15日(火)
	第2回	平成30年11月13日(火)
	第3回	平成31年 1月30日(水)
	第4回	平成31年 3月 5日(火)
(3) スポーツ医・科学委員会	第1回	平成30年 7月19日(木)
	第2回	平成30年11月 8日(木)
	第3回	平成31年 3月 7日(木)
(4) 境川自転車競技場運営委員会	第1回	平成30年 5月 7日(月)
	第2回	平成31年 3月 4日(月)
(5) スポーツ少年団常任委員会	第1回	平成30年 5月17日(木)
	第2回	平成30年 6月28日(木)
	第3回	平成30年10月11日(木)
	第4回	平成31年 2月28日(木)

2 子どものスポーツ機会の充実

(1) スポーツ少年団の育成

ア スポーツ少年団組織の活性化

スポーツ少年団組織の活性化を図るため、理念と意義の浸透、指導者養成と資質の向上、幼児加入に対する取り組みについて、内容、方法を検討する。

イ 団員交流の促進

特定の種目に偏らず、さまざまなスポーツを体験させ運動感覚を養うとともに、野外活動や文化活動等をとおして創造性や協調性を育む。

(ア) 県内交流事業

a 第40回山梨県スポーツ少年大会の開催

平成30年8月4日(土)から5日(日)八ヶ岳少年自然の家

b 第11回山梨県スポーツ少年団フェスティバルの開催

平成30年4月7日(土) 小瀬スポーツ公園 体育館

c 第37回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会予選会の開催

(軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道)

平成30年5月から6月末日 県内各会場

d 全国スポーツ少年団競技別交流大会予選会の開催

(バレーボール・剣道)

平成30年11月から12月末日 県内各会場

(イ) 県外交流事業

- a 第49回関東ブロックスポーツ少年大会の開催・派遣
平成30年8月10日(金)から12日(日) 群馬県
- b 第56回全国スポーツ少年大会への派遣
平成30年8月2日(木)から5日(日) 茨城県
- c 第37回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の開催・派遣
(軟式野球)
平成30年7月21日(土)から22日(日) 山梨県
(バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道)
平成30年7月27日(金)から29日(日) 山梨県
- d 全国スポーツ少年団競技別交流大会への派遣
第40回 野球 平成30年7月28日(土)から31日(火)長崎県
第41回 剣道 平成31年3月27日(水)から29日(金)山口県
第16回 バレーボール 平成31年3月28日(木)から31日(日)大分県

ウ 市町村スポーツ少年団の組織強化

スポーツ少年団組織の指導体制の強化と組織の資質向上を目指し、その機能を充実させるため、団員交流や単位団の活性化を図る。

(ア) スポーツ少年団市町村事務担当者会議の開催

スポーツ少年団の理念と意義や単位団の活動のあり方等の理解を深めてもらうとともに、各市町村の課題や情報を共有することによる連携強化を図るため、担当者会議を開催する。

(イ) 県内スポーツ少年団交流事業への助成

県内市町村スポーツ少年団において団員の交流を図る事業を助成する。

(ウ) 県外スポーツ少年団交流事業への助成

近隣の県外団員との交流を促進し、団活動の活発化を図る事業を助成する。

(エ) 母集団育成事業への助成

単位団を支える”母体となる集団”の育成を図る事業を助成する。

(オ) 体力テスト事業への助成

自己の体力を把握し、健康管理や体力づくりを促進する事業を助成する。

(カ) 指導者育成事業の委託

指導者の資質向上並びに指導者組織の整備拡充を図るための事業を委託する。

(2) スポーツの巡回指導

子ども達が身体活動の持つ楽しさや成功体験を経験することにより、将来的なスポーツへの可能性を広げられる事業となるようモデル事業(年間20回程度)を実施。平成31年度から本格実施できるよう指導スキルの向上やマニュアル作成に取り組む。

3 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

(1) スポーツ大会の開催

ア 山梨県体育祭り

県民一人ひとりがスポーツに親しみ、豊かなスポーツライフの創造と地域のスポーツ振興

を図り、明るく豊かで活力あるふるさとづくりを目的に開催する。

(ア) 平成30年度実行委員会総会の開催

(第71回夏秋季大会・第72回冬季大会)

平成30年4月24日(火)

(イ) 第71回夏季大会

カヌー競技 平成30年5月27日(日) 精進湖カヌー競技場
ボート競技 平成30年6月16日(土) 河口湖漕艇場
セーリング競技 平成30年6月17日(日) 山中湖村ヨットハーバー沖
少林寺拳法競技 平成30年7月 8日(日) 小瀬スポーツ公園武道館
水泳競技 平成30年8月19日(日) 小瀬スポーツ公園水泳場
クレ射撃競技 平成30年8月26日(日) 下部射撃場

(ウ) 第71回秋季大会

組合せ抽選会 平成30年7月23日(月)

中心会期(41競技)平成30年9月15日(土)・16日(日)・23日(日)

小瀬スポーツ公園他

総合開会式 平成30年9月15日(土) 小瀬スポーツ公園武道館

総合閉会式 平成30年9月23日(日) 小瀬スポーツ公園武道館

(エ) 第72回冬季大会

スケート競技(フィギュア) 平成31年1月 上 旬 小瀬アイスアリーナ
スケート競技(スピード) 平成31年2月11日(月) 富士急ハイランドセイコオーバル
スキー競技 平成31年3月 中 旬 サンメドウズ清里スキー場
アイスホッケー競技 平成31年3月 下 旬 小瀬アイスアリーナ

イ 山梨県スポーツ・レクリエーション祭

「第1回全国スポーツ・レクリエーション祭」の開催を記念して、県民が気軽に参加でき、スポーツ・レクリエーションを楽しみながら、交流を深める場となることを目的に開催する。

(ア) 平成30年度実行委員会総会の開催

平成30年4月9日(月)

(イ) 第30回山梨県スポーツ・レクリエーション祭

平成30年5月12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)、27日(日)

6月10日(日)

マスターズ陸上競技など19種目 緑が丘スポーツ公園、小瀬スポーツ公園他

ウ 第55回県一周駅伝競走大会

スポーツ県やまなし宣言記念事業の一環として、県内各地区の代表チームによる県一周駅伝競走大会を開催し、スポーツの普及啓蒙を図る。

平成30年12月1日(土)から2日(日)

(2) 参加機会の充実

ア スクールの開催

(ア) スポーツ健康づくり教室

生涯スポーツの必要性及び継続して行うことの大切さを理解してもらえるよう、スポーツや運動をする機会を提供し、サークル活動等による自主的な活動への発展を促し、スポ

ーツライフを支援する。

種目	教室
テニス	・初心者テニス ・フレンドリーテニスレッスン ・フレンドリーテニスゲーム
バドミントン	・初心者バドミントン ・フレンドリーバドミントンゲーム
太極拳	・太極拳
弓道	・初心者弓道
フィットネス	・いきいきパワーアップ ・ミットパーカッション ・託児付ママのためのフィットネスサロン ・マスターズ
陸上	・大人のための陸上教室(短距離) ・子どもかけっこ教室
ダンス	・エアロビクス ・ソフトエアロビクス ・リズム&ボディケア ・あそびのおけいこ(親子リズム体操) ・ヒップホップダンス
ヨーガ	・ヨーガ ・インナーパワーヨーガ ・ベーシックヨーガ ・ピラティス ・骨盤調整
グラウンドゴルフ	・エンジョイグラウンドゴルフ
スケート	・カーリング ・初心者フィギュア ・夏休みファミリースケート day

(イ) トレーニング室利用者講習・実技指導

a 利用者講習会

トレーニング室利用者を対象に、安全に利用してもらうための講習会を行い利用者証を発行する。

講習時間 随時

受講料 500円/人

b 体質改善プログラムの提供

メタボリックシンドローム改善の為、体組成器を用い、筋・脂肪割合、体組成成分、メタボリック情報など10項目について評価を行い、それに基づいて適切な運動プログラムを提供する。

体組成測定 随時

測定料 測定のみ(結果説明、運動アドバイスを含む)200円/人

c 実技指導

利用者の目的に応じたトレーニングメニューを提供するとともに、機器の効果的な使用方法を指導し、トレーニング効果を高める。

なお、健全な発育発達を考慮し、中学3年生からの利用とする。

実技指導 随時

指導料 無料(施設使用料別途)

(ウ) 軽スポーツの普及

山梨県レクリエーション協会と連携し、家族や地域の人たちの絆を深めるきっかけづくりに繋がる軽スポーツやニュースポーツを体験できる場を提供する。また、ルール解説などをまとめたガイドブックを作成する。

イ スポーツフェスティバルの開催

各年齢層に応じたスポーツを楽しむ機会やふれあいの場を提供し、スポーツの楽しさと爽

快感を体験するとともに、スポーツへの興味や関心を高め、スポーツを実践する動機づけにする。

(ア) ファミリースポーツフェスティバル

親子・祖父母と楽しめるスポーツをとおして、ふれあいの場とすると同時に、家庭生活の中でスポーツに親しむ動機づけとする。

(イ) こどもスポーツフェスティバル

こどもが気軽に参加し、共に考え協力して行えるスポーツ大会をとおして、スポーツの楽しさを知り、生涯にわたってスポーツに親しむ契機とする。

(ウ) ヤングスポーツフェスティバル

若者に人気のあるスポーツの大会を開催し、スポーツに慣れ親しみ、生涯にわたってスポーツを楽しむ契機とする。

(エ) シルバースポーツフェスティバル

高齢者に大変人気の高いグラウンドゴルフの大会を開催することにより、高齢者が生涯にわたりスポーツに慣れ親しみ、健康的な生活を送れるための契機とする。

(オ) スクールフェスティバル

教室参加者や、地域・サークル等で活動している、初・中級者を対象とした大会を開催し、活動を継続するための目標とするとともに、他大会等へのステップとしてもらう。

(カ) キッズ トライ スポーツ

2020年に東京を中心会場として開催されるオリンピック・パラリンピックへの関心を高揚させ、県内のスポーツ振興を図るため、県内児童を対象に通常では体験機会の少ない競技種目を紹介、体験させるイベントを開催する。

(キ) 利用促進スポーツイベントの開催

施設の更なる利用促進を図るため、県内小学生及び一般成人を対象に、著名なアスリートのレッスンが受けられるスポーツイベントを開催する。

ウ セミナーの開催

(ア) スポーツ医・科学セミナー

国体強化選手、指導者及びスポーツ愛好者等を対象に、スポーツ医・科学委員会と連携し、健康の保持増進や体力づくり、競技力の向上等を目的としたスポーツ医学やスポーツ科学のセミナーを開催する。

(イ) 健康・体力づくりセミナー

スポーツを愛好している一般の人たちを対象に、身近なスポーツの技術・技能の紹介や基礎的な知識を提供するセミナーを開催する。

(3) 地域スポーツの推進

ア 高齢者向け体力測定

活力ある超高齢化社会を目指し、身体運動の基本となる歩行能力評価と運動指導をセットにした運動プログラムを提供する。平成31年度の本格実施に向けてモデル事業(年間20回程度)を実施する。

イ 指導者派遣

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動を支援するため、要望に応じ指導者を派遣し、健康・体力づくりの指導を行う。

指導者派遣 年間 20回

無料:公益的な団体で参加者に負担を求めない場合

有料:参加者に負担を求める場合及び公益的な団体以外への派遣

講義(5,000円/時間)・スポーツ指導料(3,000円/時間)

※実施希望日の前月10日前までに申込み

ウ 軽スポーツ用具の貸出

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動に対して、軽スポーツ用具の貸し出しを行う。

(4) 障がい者スポーツの推進

専門的知識やノウハウなどの情報を有する山梨県障害者スポーツ協会のほか、各専門関係団体と連携し、障がい者と健常者が共に参加できるイベントとして、3on3大会とカーリング大会を開催する。

4 競技スポーツの推進

(1) 競技力の向上

本県選手が国民体育大会や各種大会等において優秀な成績を収めることができるよう競技力の向上を図るとともに、県民のスポーツへの関心を高め、本県スポーツの発展を期する。

ア 競技力向上対策本部の運営

(ア) 本部会議(年4回)

平成30年6月28日(木)、9月6日(木)、11月8日(木)、平成31年3月7日(木)

(イ) 理事長、事務局長、主任強化コーチ会議(年3回)

国体出場競技団体の理事長、事務局長、主任強化コーチ等に対し、競技力向上に関する説明会や研修会を実施する。

平成30年5月23日(水)、11月13日(火)、平成31年3月12日(火)

(ウ) 国体派遣担当者・事務担当者会議

国体派遣担当者・事務担当者等に対し、国体に関する説明会を実施する。

平成30年7月11日(水)

(エ) 競技団体個別会議

対策本部委員と競技団体競技力担当者が面談を行い、今後の課題、方針などの意見交換を行う。

冬季競技 …平成30年7月24日(火)

本国体競技…平成31年1月21日(月)・22日(火)・23日(水)・24日(木)

イ 一貫指導体制の確立

(ア) ジュニアアスリート・トータルサポート事業

山梨県内の競技団体に対して、指導者の育成・強化を図る事業、および優秀なジュニアアスリートを発掘し、中学生、高校生までの長期的計画により組織的に育成する事業に対し助成する。

また、この事業をより効果的に実施するため、日本体育協会が主催する「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」に参画し、全国の有能なジュニアアスリートとともに合宿等を開催する。(ウエイトリフティング競技)

さらに、東京オリンピックに出場する可能性が高い選手が、県内ジュニア選手及び指導者を対象に講習会を行い、県内選手・指導者の競技力向上及び指導力向上を図るため、その実施に係る経費の一部を助成する。

ウ 競技団体等への支援

(ア) 競技団体選手強化事業

a 成年・少年

国民体育大会に向けての候補選手(指導者を含む)を対象とした強化事業に対し助成する。

(イ) 成年チーム指定強化事業

a 重点チーム強化

国民体育大会において優秀な成績を収めるため、重点強化チーム9チームを指定し、強化事業に対し助成する。

b 指定チーム強化

成年選手の競技力の維持向上を目指して、大学・企業・クラブチーム13チームを指定し、強化事業に対し助成する。

(ウ) 海外派遣奨励金の交付

日本代表として世界選手権等の大会に海外派遣される個人・団体に交付する。

(エ) 競技団体等主催大会等助成事業

関東大会・全国大会及び国際大会等の開催や本県選手の出場、活躍は本県スポーツの振興に大きく寄与するため、本県開催の関東級以上の大会に助成する。

(オ) 2020年東京オリンピック選手助成・支援事業

東京オリンピックにおいて選手になる可能性を十分有している本県出身選手が、東京オリンピックの選手として活躍してもらうため、また国民体育大会においても活躍してもらうため、その選手の競技力向上の活動に対し助成する。

認定証交付式 平成30年4月26日(木)

(カ) 山梨県体育協会特別助成事業

国民体育大会において上位入賞を目的に、将来、全国レベルの有望な選手として活躍できる選手・チームの育成、強化を図るため、競技団体から提案のあった特別な強化、支援事業を競技力向上対策本部会議で助成内容等を協議し、体育協会の自主財源から競技団体等に助成する。

(キ) 練習場確保事業

県立射撃場の整備凍結に伴う競技団体の練習場確保事業に対し助成する。

エ 国民体育大会選手等の選定及び派遣

予選会を実施し、選手の選考を経て、本県選手団を派遣する。

(ア) 第73回国民体育大会関東ブロック大会

中心会期 平成30年 8月17日(金)から19日(日) 茨城県

(イ) 第73回国民体育大会

会期前実施 平成30年 9月 9日(日)から17日(月) 福井県
(水泳・ビーチバレー・ハンドボール・クレール射撃)

本大会 平成30年 9月29日(土)から10月9日(火) 福井県

<開会式 平成30年 9月29日(土)>

(ウ) 第74回国民体育大会

冬季大会関東ブロック大会

平成30年12月14日(金)から16日(日)(アイスホッケー) 茨城県

冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

平成31年 1月30日(水)から 2月 3日(日) 北海道

冬季大会スキー競技会

平成31年 2月14日(木)から17日(日) 北海道

(エ) 日本スポーツマスターズ2018への派遣

平成30年 9月 1日(土)から 2日(日)(水泳) 北海道

平成30年 9月12日(水)から14日(金)(ゴルフ)

平成30年 9月15日(土)から18日(火)

オ 医・科学サポート

(ア) 医学的サポート

国体に参加する選手(含:関東ブロック大会)から提出された健康調査票を基に、メディカルチェックを実施し、選手の健康管理を行う。

(イ) 科学的サポート

体力・バイオメカニクス関係、栄養関係、心理関係、コンディショニング関係の4分野について、国体参加競技団体を対象に測定、調査、分析し、指導・助言を行う。

(ウ) 国民体育大会へのスポーツドクターの帯同

国体参加時にスポーツドクターを帯同させ、選手の緊急医療時の対応やドーピング関係薬物の対応を行う。

5 スポーツ環境の整備

(1) 人材の養成

ア 子どものための人材養成

(ア) スポーツ少年団認定員養成講習会

地域における単位団活動の中心的指導者として指導・運営を行う指導者を養成する講習会を開催する。

第1回 平成30年 8月18日(土)から19日(日)小瀬武道館第1会議室

第2回 平成30年10月13日(土)から14日(日)緑が丘スポーツ会館

第3回 平成30年12月22日(土)から23日(日)小瀬武道館第1会議室

(イ) スポーツ少年団認定育成員の養成

単位団指導者の中核であるとともに、認定員養成講習会の講師を務める認定育成員の養成のため、中央で行われる講習会に派遣する。

平成30年10月14日(日) 東京都

平成30年11月3日(土) 東京都

(ウ) スポーツ少年団指導者研修会

指導者等の資質向上と指導者相互の連帯を図るため、研修会を開催する。

平成30年12月16日(日) 参加者100人

(エ) スポーツ少年団スポーツ指導者協議会への助成

組織の整備と活動推進のために助成する。

(オ) 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

関東ブロック各都県のスポーツ少年団登録指導者の相互の連携と資質・指導力の向上を図り、指導活動の促進方法について協議するとともに、スポーツ少年団活動の推進に資するため研究協議会に派遣する。

平成30年11月3日(土)から4日(日) 千葉県

(カ) スポーツ少年団リーダーの養成

リーダー会の育成や指導者協議会との連携により、将来の指導者を養成するとともに、少年団の円滑な活動の推進を図る。

a ジュニア・リーダースクールの開催

単位団において、団員の模範となって活動する少年リーダーを養成する。

平成30年11月10日(土)から11日(日) 緑が丘スポーツ公園スポーツ会館他

b シニア・リーダー研修会

中学生以上で、シニア・リーダー資格取得に意欲のある団員を集め、資質向上のための研修を開催する。

平成30年 2月16日(土) 小瀬スポーツ公園武道館

c リーダーの派遣

日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール

平成30年 8月9日(木)から 8月13日(月) 静岡県

関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会

平成30年10月20日(土)から10月21日(日) 栃木県

全国スポーツ少年団リーダー連絡会

平成30年 6月16日(土)から 6月17日(日) 東京都

d 山梨県スポーツ少年団リーダー会への助成

組織の強化充実並びに運営経費に助成する。

イ 生涯スポーツのための人材養成

(ア) スポーツリーダー養成講習会

地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたることのできる指導者を養成する講習会を開催する。

平成30年5月26日(土)から27日(日) 緑が丘スポーツ会館研修室

(イ) 公認スポーツ指導員養成講習会

地域において、子ども達や初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個々の指導対象にあわせた指導が可能となる指導者を養成する講習会を開催する。

自転車 水泳 ソフトボール

(ウ) 公認スポーツ上級スポーツ指導員養成講習会

各地域において、年齢、競技別レベルに応じた指導ができ、指導計画などにおいても中心的な役割を担うことのできる指導者を育成する講習会を開催する。

(エ) スポーツドクターの確保

医・科学委員会との連携と医師の協力のもと、スポーツドクターの確保を図る。

(オ) アスレティックトレーナーの確保

医・科学委員会及び競技団体と連携を図り、アスレティックトレーナーの確保を図る。

(カ) スポーツ指導者研修会の開催

公認スポーツ指導者の資質の向上と活動促進、指導者の連帯感を深める。

第1回 平成30年6月9日(土)小瀬スポーツ公園武道館 (2回、3回 未定)

(キ) 山梨県スポーツ指導者協議会への助成

組織の強化充実並びに運営経費に助成する。

(2) スポーツ拠点の充実

ア 地域スポーツの充実

(ア) スポーツ振興ブロック会議

スポーツの振興に関し、各地域の市町村のスポーツ関係者と地域の課題等について意見交換を行い推進強化を図る。

中北地区 平成30年 7月 5日(木) 北巨摩合同庁舎

富士・東部地区 平成30年 7月 6日(金) 富士ふれあいセンター

峡東地区 平成30年 7月10日(火) 甲州市民文化会館

峡南地区 平成30年 7月12日(木) 身延総合文化会館

(イ) 山梨県スポーツ推進委員協議会との連携

各地域の県民がスポーツの生活習慣化できるような魅力ある事業を展開し、スポーツ拠点を拡充できるよう、山梨県スポーツ推進委員協議会との連携を図る。

(ウ) 企業・大学との連携

a 民間団体との共催事業を展開することにより、民間の持つノウハウ又はネットワーク等を活用し、各年齢層を対象とした各種事業展開を行う。

b 高齢者の健康体力つくりのために、県下に6つある「山梨ことぶき勸学院」の生徒を対象に、有資格者による運動指導を行う。

イ 総合型地域スポーツクラブの育成・推進

(ア) 広域スポーツセンターの運営

県が設置した広域スポーツセンターを運営し、総合型地域スポーツクラブの創設や運営及びスポーツ活動について効率的に支援する。また各クラブの連携を図り、クラブの活性化を目指す。

広域スポーツセンター運営会議 第1回 平成30年 6月20日(水)

第2回 平成30年10月17日(水)

第3回 平成31年 2月20日(水)

(イ) 総合型地域スポーツクラブの支援・育成

県教育委員会と連携し、日本体育協会クラブアドバイザーとともに県内各市町村を訪問し、総合型地域スポーツクラブの設立依頼や状況把握を行うとともに、スポーツクラブ運営の助言および指導を行う。

(ウ) やまなし総合型スポーツクラブフェスタ

クラブ相互の交流と認知度アップを図るとともに、広く県民に参加を呼びかけ、スポーツ実施率の向上を促す契機とする。

平成30年12月15日(土)緑が丘スポーツ公園体育館

ウ 管理施設の環境の充実

本協会が管理している施設を県民に親しんでもらえるよう、サービスの向上に取り組む。
また、「見るスポーツ」の機会充実とスポーツへの関心、興味、参加を促すためのプロスポーツ大会の誘致のほか、教育や文化、福祉、産業振興などの幅広い分野での誘致を行う。

さらに、利用者の安全・安心、快適な利用のために、日々の施設の環境整備、備品の点検、AEDの設置や職員の救命救急法の研修などを実施する。

(ア) 管理受託施設

- a 小瀬スポーツ公園
- b 富士北麓公園
- c 緑が丘スポーツ公園
- d 八ヶ岳スケートセンター
- e 八代射撃場

(イ) 直営施設

- a 境川自転車競技場

(3) スポーツの啓発

ア スポーツ情報発信

(ア) インターネットの活用

- ・インターネットを活用し、管理施設の情報、スポーツ教室やイベントの紹介を行う。
- ・やまなしスポーツ情報ネット内にシステム化されている「スポーツ指導者バンク」の運営を行い、スポーツ指導者の登録、紹介を行う。
- ・やまなしスポーツ情報ネットのスポーツ新着情報や大会情報等の更新を行う。

(イ) 広報誌の活用

- ・情報交換と提供の場として体育協会広報誌「やまなし体協」とスポーツ少年団広報誌「わかば」を発行する。
- ・スポーツ振興事業等の情報提供の場として「やまなし体協スポーツガイド」を発行する。

イ 各種表彰

(ア) 体育協会表彰

体育・スポーツに尽力された体育功労者に対し、その活動への感謝と功績を讃えるため表彰を行う。

また、全国大会や世界大会に出場し優秀な成績を残した県内選手・指導者に対し、その功績と今後の活躍を期待して表彰を行う。

(イ) スポーツ少年団表彰

永年に亘り、団活動を活発に行い他の模範となるような単位団、並びに団活動に尽力しその功績が顕著な指導者に対して表彰を行う。

6 国際交流の推進

(1) スポーツ少年団のスポーツ交流

ア 日独スポーツ少年団同時交流

日独の友好と親善を深め、国際的能力を高めるとともに、スポーツ少年団の発展に寄与

するため、両国のスポーツ少年団の優れた青少年及び指導者の相互交流を行う。

派遣事業 平成30年 7月30日(月)から 8月17日(金)

(2) 競技スポーツ交流

ア 日中スポーツ交流

日中両国政府により実施された2007「日中文化・スポーツ交流年」を契機として、両国の代表団員が互いの国を訪問し、スポーツを中心とした様々な交流を実施する。

イ 日韓スポーツ交流

2002年ワールドカップ・サッカー大会の日韓共同開催決定を契機として、両国の代表団員が互いの国を訪問し、スポーツを中心とした様々な交流を実施する。

ウ 日ロスポーツ交流(平成30年度より新規事業)

2016年に発表された「ロシアにおける日本年」を契機として、両国の代表団員が互いの国を訪問し、スポーツを中心とした様々な交流を実施する。

(3) 東京オリンピック・パラリンピック

山梨県東京オリンピック・パラリンピック推進本部及び関係加盟団体と連携し事前合宿等の誘致に向けた業務を推進するとともに、山梨県事前合宿等誘致連絡会議において連絡調整を図る。

7 スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上と補償制度の推進

(1) スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上

ア ガイドラインの運用

運営の透明性確保等のガバナンス(内部統治機構)の確立に向け、ガイドラインの運用を進める。

イ アンチ・ドーピングの啓発

(ア) アンチ・ドーピング講習会

薬物乱用、誤用の認識を高め、健全なスポーツ活動を推進するため、講習会を開催する。

第1回 平成30年 6月 2日(土)

第2回 平成30年 6月21日(木)

(イ) 競技別アンチ・ドーピング講習会の開催

選手が多く集まる練習会や合宿に出向き、講習を行う。(年5回程度)

ウ ハラスメントの撲滅

選手同士また選手と指導者がお互いを信頼してスポーツを行えるように、いじめや暴力・暴言、セクハラ等、これまでの指導方法の中に起こりうるハラスメントについて注意喚起を行う。

エ スポーツにおける暴力行為等相談窓口の設置

「公益財団法人山梨県体育協会及び加盟団体における倫理に関するガイドライン」で提起した、スポーツにおける暴力行為等に関する相談及び問い合わせに対応するために設置した相談窓口を維持、継続する。

オ スポーツ仲裁自動応諾条項の採択の普及

スポーツ関係団体が、スポーツに関するルールの透明性を高め、健全なスポーツの発展

に寄与していく組織づくりの機会になるよう、仲裁自動応諾の採択を加盟団体に対して働きかける。

カ フェアプレイ宣言の推進

スポーツを真に楽しく行う上では欠かせないフェアプレイを推進するため、スポーツ活動のあらゆる場面で協力及び実践の呼びかけを行う。

(2) 補償制度の推進

ア スポーツ安全保険の加入促進

関係スポーツ団体に対し、団体活動中に発生する怪我や損害等に備え、安心してスポーツが行えるようスポーツ安全保険への加入を促進する。

イ スポーツ傷害見舞金の給付

スポーツ大会等に参加した選手等で負傷又は死亡した者に対し、見舞金の給付を行う。

ウ 主催者賠償責任保険の加入

主催事業で損害賠償事故が起きた場合に、補償できる体制を整えるため、主催者賠償責任保険へ継続加入する。

(収益事業等)

Ⅲ 利用環境・効率の向上

1 各種サービス事業

(1) レストラン・売店等の運営

公園来園者に対する飲食等の便宜供与のため、体育館レストラン・売店における飲食の提供、物品の販売を行うとともに、スケート靴等の貸し出しに係る斡旋業務を行いスポーツの普及支援の担い手として事業を展開する。

ア レストランの運営

・営業時間

午前11時から午後2時まで(火曜日は休業)※祝日の場合は営業、翌日休業

・販売品目

食 事 --- ラーメン、カレーライス、ジュースなど常時約30品目

イ 売店の運営

イベントや大規模大会等の開催時に売店を開設し、飲食物の販売を行う他、各施設の受付においてスポーツ用具(テニスラケット他)の貸出、テニスボール等の販売など施設利用者のニーズに応じていく。

・販売品目

臨時売店:焼きそば、飲料などを約10品目

受付販売:バスケットボール等の貸出、バドミントンシャトル等の販売

ウ 自動販売機の設置

管理施設内に自動販売機を設置し、清涼飲料水・乳飲料・アイスクリーム及び軽食類などの販売を行う。

・自動販売機の設置台数

小瀬スポーツ公園 44台(プール開放期間中は5台追加)

緑が丘スポーツ公園 10台

富士北麓公園	6台
八ヶ岳スケートセンター	4台(11月下旬から2月中旬まで)
境川自転車競技場	2台
八代射撃場	1台

エ スケート靴の斡旋

小瀬アイスアリーナ及び八ヶ岳スケートセンターに於いて、利用者にスケート靴の貸し出し業務を行う。

・貸靴種目

フィギュア他3種 約800足

オ ジョギングハウスの活用

ウォーキングやジョギングで小瀬スポーツ公園を訪れた方々が、気軽にトレーニングも行えるよう、ジョギングハウス内に容易に扱え安全性が高いトレーニング器具を設置し、小瀬スポーツ公園の利用促進を図る。

カ スポーツ絵画・写真コンクールの開催

スポーツの絵画、写真を通して、スポーツへの関心を高めるとともに、県民のスポーツに対する意識の向上を図る。

キ 施設利用者への還元事業の実施

施設の利用促進と、日頃からの施設利用者に対する還元事業として、各種イベントを企画し利用者が楽しめる施設を目指す。

- ・クリスマス企画（利用者へプレゼント配布）
- ・バレンタイン企画(利用者へプレゼント配布)
- ・ホワイトデー企画(利用者へプレゼント配布)

ク 福利厚生事業の支援

職員が安心して働ける職場づくりの推進を図るため、職員互助会の諸事業に対し支援を行う。

2 利用効率の向上

本協会が管理する各施設の利用効率の向上ため、公益目的以外の利用についても、サービスの向上と利用促進に努め施設の有効活用を図る。